

むらたまち 議会だより



令和8年新春賀詞交歓会

和太鼓 幻創

南部聡子さんと村田第一中学校3年生5名の皆さん

● 令和7年第6回定例会…2

● スバリ!町政を問う【一般質問5人】 … 5

● 常任委員会レポート … 12 他

Vol. **149**
2026.2.1.

議案第46号
議案第56号

一般会計補正予算

2億9683万円を追加

おもな事業

まちづくり振興課 商工費

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

1億338万円（経費含む）

町民9668人に対して
一人当たり1万円分のクーポン券配布

子育て支援課 児童福祉費

物価高対応子育て応援手当支給事業

2436万円（経費含む）

子育て世帯に対し、世帯内で扶養されている
18才以下の児童一人当たり2万円の給付金を支給

12月定例会

令和7年第6回定例会は、12月9日から11日まで3日間にわたり開催されました。この定例会では、条例の制定1件、一部改正2件、補正予算7件、指定管理者の指定3件、規約の変更1件、工事請負契約の締結1件、同意1件、請願1件、議発案1件が提案され、全て可決しました。
また、一般質問は5人の議員が、町の考えや対応を質しました。

議案第57号 工事請負契約の締結

令和7年度 町道千塚竹ノ内線改良工事 （冠水対策事業）

1億2991万円（社会資本整備総合交付金）



A

お米券なども検討したが、効果的な応援策として汎用性の高いクーポン券を今回も採用した。

Q

物価対策として、クーポン券が提案された理由は。

■議案第56号 令和7年度村田町一般会計補正予算（第4号）

A

産地づくりに向けた体制構築支援を行うことで、パソコン2台、農地台帳システム更新、事務費などである。

Q

農業費、生産推進対策費300万円の内容は。

■議案第46号 令和7年度村田町一般会計補正予算（第3号）

第6回定例会議案

質疑応答 （抜粋）

令和7年第6回 定例会の議案と採決結果

議 案 名	採決結果
条 例 (制定・一部改正)	
■議案第43号 村田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 児童福祉法に基づき、安全に事業を実施するための基準を定めるもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第44号 児童福祉法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例 児童福祉法の一部改正に伴い、関係条例を一部改正するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第45号 村田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告を受け、村田町職員の給与等を一部改正するもの	原案可決 賛成11：反対0
補 正 予 算	
■議案第46号 令和7年度村田町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1億6908万5千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第47号 令和7年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ21万2千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第48号 令和7年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ20万円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第49号 令和7年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ20万3千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第50号 令和7年度村田町上水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入の予定額を3億9307万円、支出の予定額を3億9402万1千円とするもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第51号 令和7年度村田町下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入の予定額を3億6331万円、支出の予定額を3億4858万円とするもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第56号 令和7年度村田町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ1億2775万4千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
指定管理者の指定	
■議案第52号 指定管理者の指定について（村田町物産交流センター） 指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 代表者 村上 博 指定期間 令和8年4月1日から令和11年3月31日まで	原案可決 賛成11：反対0
■議案第53号 指定管理者の指定について（姥ヶ懐民話の里ふるさとおとぎ苑） 指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 代表者 村上 博 指定期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで	原案可決 賛成11：反対0

■議案第54号 指定管理者の指定について（村田町老人憩の家） 指定する団体 社会福祉法人村田町社会福祉協議会 代表者 高橋 郁夫 指定期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで	原案可決 賛成11：反対0
規約変更	
■議案第55号 宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決 賛成11：反対0
工事請負契約締結	
■議案第57号 工事請負契約の締結について 工事名 令和7年度町道千塚竹ノ内線改良工事 契約の方法 条件付一般競争入札 契約金額 1億2991万円 契約の相手方 柴田郡村田町大字村田字北塩内60番地の4 大沼舗設株式会社 代表取締役 伊藤 定	原案可決 賛成11：反対0
同 意	
■同意第13号 村田町監査委員の選任について 任期満了に伴い村田町監査委員を選任するもの 氏名 眞壁 孝（大字小泉）	原案可決 賛成11：反対0
請 願	
■請願第1号 日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書提出に関する請願書	採 択 賛成10：反対1
議発案	
■議発案第2号 「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の提出について	原案可決 賛成11：反対0

意見が分かれた議案の賛否一覧

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
議 案	加藤喜太郎	山家寛二	大久保廣信	山家大	鈴木宏	鈴木正信	菊地睦夫	大沼吉隆	高橋勝	村上登	太田初美	遠藤実	議決結果 (賛成：反対)
■請願第1号 日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書提出に関する請願書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	採 択 (10：1)

* 表決の区分 ○賛成 × 反対 欠：欠席 議 議長は採決に加わらない



● 高橋 勝 議員 (6ページ)

1.本町の交通対策は

● 太田 初美 議員 (7ページ)

1.2026年度予算編成について

● 菊地 睦夫 議員 (8ページ)

1.本町におけるクマによる被害防止対策について

● 村上 登 議員 (9ページ)

1.都市計画マスタープランと今後のまちづくりについて

● 山家 大 議員 (10ページ)

1.村田町学校再編における中学校校舎建設計画について

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

本町の交通対策は



たかはし まさる
高橋 勝 議員

「くらりん号」は町民の移動手段として多くの方が通勤通学や買い物などの日常生活に利用されている。事前の予約手続きが必要であることなど多少の不便はあるものの、町民の移動のためには欠かせない交通手段になっている。

「くらりん号」土日祝日の運行を検討すべきでは

質問1

町内の民間タクシー2社が日曜日は運行休止となり、不便になったという声が少なからずあるが、町としての考えは。

町長答弁

土日祝日運行の必要性和可能性について総合的に検討を進める。

地域住民の足を支えてきたものであり、令和7年11月末現在、登録者数は、1,198人で、65才以上が957人、主に高齢者の方々に登録いた

だいている。利用人数は、3,230人で、前年比557人増となっている。利用目的については、医療機関への通院が約7割となっている。民間タクシー事業者が日曜日の運行休止したことは、町としても心配している。「くらりん号」土日祝日の運行導入については利用ニーズの可能性がはっきりしないので、利用需要の精査が必要であり、運行事業者の確保や運行経費の増加の対応など、多くの課題を検討する必要がある。

クロスセクター効果で地域を支える投資を

質問2

今後、高齢者の運転免許証返納の増加が本町でも予想される。同居家族がいれば対応できるが、一人暮らしの場合はどうしても交通手段が必要である。

「クロスセクター効果」とは

「地域公共交通が町民の移動を支えることで、行政コストの軽減に資する効果を定量的に算定するもの」であり、公共交通への財政支出を確保す

町長答弁

「地域を支える投資」として位置づけクロスセクターの視点を踏まえた効果的な検討をしていく。

交通施策は、地域住民の移動の確保に留まらず、高齢者の外出支援による介護予防、通院や買い物の利便性向上、地域商業の利用促進、地域コミュニティの維持など、多様な分野に効果が波及する。これらの多面的な波及効果は、各分野の施策で個別に対応した場合に比べ、行政コストの削減や効率的な資源配分にもつながるものである。



村田町デマンド型乗合タクシー

くらりん号

デマンド型乗合タクシーとは

目的地に直行する通常のタクシーとは異なり、他の人と乗り合いながらそれぞれの目的地まで送迎します。

運行区域

村田町全域です ※町外への利用はできません

利用できる方

村田町にお住まいの方（住民記録台帳のある方）で利用者登録をされた方
※役場へ利用申請書を提出し、登録者カードの交付を受けてください。

運行料金

大人（高校生以上）	300円
小学生・中学生	150円
障害手帳をお持ちの方	150円（乗車時に障がい手帳を提示）
未就学児	無料（登録は必要です）

料金の支払方法

乗車時に現金または回数券でお支払ください。
回数券は、デマンド型乗合タクシー車内で購入できます。

回数券は、
3,000円（300円券 11枚）
1,500円（150円券 11枚）
の2種類があります！



おた はつみ
太田初美議員

2026年度予算編成について

予算編成について

質問1

新年度の予算編成の基
本方針はどう示し、どの
政策に重点配分するのか。
また、自主財源の確保は、
どう講じていくのか。

町長答弁

少子高齢化・人口減少
が進む中でも、持続可能
な財政運営を念頭に置い
た予算編成を指示し、福
祉の増進につながる施策
を展開していく。また、
ふるさと納税や町有地の
活用などで自主財源を確
保していく。

追質問

各種行政経費の上昇を
受け、予算編成では義務
的経費と投資的経費に関
し、削減の要求基準を設
定したのか。

財政課長答弁

削減要求の設定はして

いないが、費用対効果を
精査して予算要求するよ
う町長より指示があった。

追質問

体育館の耐震対策や商
業用地の造成、中学校校
舎建設などの大型事業が
進む中、新年度の基金取
り崩しの見通し額はいく
らなのか。

財政課長答弁

財政健全化計画に掲げ
ている4億円を堅持しな
がら予算編成にあたる。

経済対策について

質問2

政府は物価高を柱とす
る経済対策を取りまとめ
た。物価上昇に苦しむ家
計の負担を軽減する施策
の動向について、国から
町に対し詳細が示された
のか。

町長答弁

物価高騰に対する特別

加算の措置と中小企業、
小規模事業者の賃上げ環
境整備支援などの事業が
提示された。町では、「重
点支援地方交付金」の趣
旨を踏まえ計画策定の準
備を進めている。本定例
会の会期中に物価高騰対
策に係る予算について、
審議をお願いすべく準備
している。

第5次村田町総合計画 の評価について

質問3

総合計画の前期基本計
画（4年間）の各施策に
おける進捗状況の評価を
6段階に分類した評価報
告書が示された。「評価A」
「評価B」の事業が6割を
占め「評価C」は3割を
占めた。新年度は、「評価
C」「評価D」以下の事業
について進捗状況を高め
よう対策を講じるため、
どう予算編成に反映させ
るのか。

町長答弁

町予算全体のバランス
を検証し、適正な配分と
収支均衡を図り町民福祉
の増進に繋がる施策の展
開が実行できる行財政運
営による予算編成を行い、
目標実現に向け努めてい
く。

追質問

職員の手が回らず事業
評価の低い施策も散見さ
れる。行政職を担う優秀
な職員が次々と退職して
いる。職員への負担は計
り知れないものがあり、
その検証は喫緊の課題だ。
職員の適正人数を財政と
連動し改善策を図るべき
ではないか。

町長答弁

人口減の中での人材確
保は公務員、民間共に厳
しくなっている。職員数
が少ないし職場も大変と
思う。職員全体で町を盛
り上げるよう取り組んで
いく。

本町におけるクマによる被害防止対策について



きくち むつお
菊地睦夫議員

今年は全国的に人の生活圏におけるクマの出没件数が増加し、人身被害も発生している。相次ぐクマの目撃情報を受け、宮城県内各地で屋外イベントや行事の中止及び延期が発表されている。本町においてもクマの出没件数は増えており、住宅地の周辺での目撃や痕跡が確認され、住民の不安が高まっている。

質問1

町として、行政区ごとのクマの出没件数や被害状況はどのように把握しているのか。

町長答弁

目撃情報は行政区では、本郷、姥ヶ懐、沼辺南、菅生下地区が1件、石生地区2件、小泉東、菅生上地区が4件、足立西地区が9件、町全体で23件となっている。

被害状況は柿の実と柿の木の枝折れ等の被害が

主で、また畜産農家敷地内で牛用エサが食べられていたとの被害報告もある。

質問2

クマの出没件数が多い地域における巡回や監視はどのように行われているのか。

町長答弁

職員による現場確認、注意喚起のための爆竹配布、柿や栗などのクマのエサとなる果実の収穫や不要な木の撤去について助言し、対応している。

クマの目撃情報があった地区には大河原警察署が速やかに巡回しており、今後とも関係機関と連携を密にして対応していく。

質問3

宮城オルレ「村田コース」利用者や町主催・共催の屋外イベント参加者の安全確保対策やクマが

出没した場合のマニユールの整備状況はどのようなになっているのか。

町長答弁

安全確保対策として、クマの出没注意用看板の設置やクマ撃退用スプレアの携帯を行っており、さらには宮城オルレ「村田コース」の出発地点となっている道の駅村田でも11月に全戸配布した「クマにご注意ください」のチラシを配布し、注意喚起している。

クマが出没した場合のマニユールとしては、環境省ガイドラインによる緊急銃猟マニユールに基づき、迅速に対応していく。

質問4

住民への迅速な情報発信体制を今後どのように徹底していくのか。

町長答弁

情報発信体制として、

「クマにご注意ください」のチラシを全戸配布したほか、村田町公式アプリLINEや宮城県クマ目撃情報マップなどSNSをより活用しながら、いち早く注意喚起を図り、住民の皆様の安全、安心を最優先にクマ被害対策に全力で取り組んでいく。



!!クマ出没・注意!!





むらかみ のぼる
村上 登 議員

都市計画マスタープランと 今後のまちづくりについて

都市計画マスタープランでは、用途地域指定が一部改正され、これまで以上の建築物が建築可能に

質問1

都市計画マスタープランにおける土地利用ゾーニング及び都市拠点を、どのように進めていくのか。

町長答弁

秩序ある土地利用を基軸とした企業誘致を推進し、産業振興と地域経済の活性化、雇用の創出、自主財源の確保、人口減少の抑制を図っていく。

追質問

土地利用ゾーニングの設定と都市拠点設定の概要のみの設定で、詳細が条例として設定されていないが、設定予定はあるのか。

建設水道課長答弁

土地利用ゾーニングは

土地利用形態を区域別に明確にすることにより、無秩序な開発整備の抑制を図るもので、乱開発を防ぎ企業の力を有効に導ける内容となっている。都市計画法に基づいているので、条例での詳細設定は予定されていない。

質問2

道の駅は地産地消の拡大と共に、大きな経済効果をもたらすものである。

施設の修繕や第二道の駅設置構想はあるのか。

まちづくり振興課長答弁

これからは集客力の回復や魅力の向上、他施設との差別化が課題であるところとらえている。

街並み等の地域資源を活用した地域経済の循環や、空いている蔵等を活用した商店街の活性化に努めたい。

追質問

第二道の駅構想とし

て、何かの付加価値を付けられる加工施設を併設していくといった計画はあるのか。

まちづくり振興課長答弁

町の特産物を販売してきたが、加工施設が必要となれば、今後議論をして検討したい。

質問3

無農薬、減農薬、有機栽培による農産物の生産は、住民生活の食の安心安全や健康増進にも直結する。

田園集落共生ゾーンにモデル地区をつくり、農産物の生産基地としてはいかがか。

農林課長答弁

無農薬、減農薬、有機栽培に取り組んでいる農家もあり健康志向の高い消費者に好評を得ている。

今後、安心安全な農産物の生産に努めるとともに、付加価値を高めた安心安全な農産物が供給で

きるように取り組んでいく。

追質問

住民の健康と食を守るため、町独自の無農薬野菜栽培奨励金制度の創設は考えているか。

農林課長答弁

まずは県の「みどり認定」を受け、設備投資の所得税、法人税の優遇や農業改良資金の無利子や融資、または償還金の延長を受けることができない。

このことにより国の補助金も受けられることになるので、この制度を活用してから対応したい。



統合中学校計画 想定不足で進んでいないか



やんべ だい
山 家 大 議員

第二中学校を 仮校舎に活用しては

質問1

校舎・体育館の建設方式について、工事の効率性や安全性、教育環境の面から再検討の考えは。

教育長答弁

現在は基本構想策定段階であり、専門家の助言を踏まえ、隣接地造成も含め慎重に検討していく。

質問2

仮設校舎を建設しない方針だが、塩内公園など公共施設の活用により教育活動の代替が可能では。

教育長答弁

建設費高騰から仮設校舎は建設しない方針であり、町民体育館やグラウンドは利用実績が多く代替は難しい。

質問3

仮設校舎の建設費負担を抑えるため、第二中学校校舎を仮校舎として活用できないか。

教育長答弁

通学時間の長時間化やバス増車、教室数不足などの課題があり、仮校舎としての活用は困難。



今の中校舎と同じ場所に建築を

代替案も専門家で 検証したのか

追質問

バス運行や教室数など課題とされた点についても、建築や運営の専門家の視点で代替案を含めた検証が必要ではないか。

教育長答弁

建築専門機関の助言を受けるとともに、学校再編準備室において関係部

署が連携し、基本構想の中で比較検討している。

その案が最善といえる 根拠を示すべき

追質問

既存校舎を使用しながらの工事では、騒音や動線交錯、災害時の避難や引き渡しなど、教育環境と安全面への影響が懸念されるが、どのように対応するのか。

教育総務課長答弁

校舎配置や工事動線、災害時対応についても基本構想に盛り込み、子どもの安全を最優先に検討していく。

追質問

工事制約による工期の長期化や追加費用、入札不調などにより、結果として事業費が増加する可能性はないか。

教育総務課長答弁

社会情勢も踏まえ、仮設校舎を含めた各手法の費用や影響を比較し、最

も適した方法を総合的に判断する。

追質問

仮設校舎建設と比べ民地購入・造成のほうが費用削減と判断する根拠を示すべき。

教育総務課長答弁

基本構想の中で、仮設校舎建設と民地購入・造成の費用を比較し、総合的に判断していく。

追質問

既存校舎の解体・同敷地での建設を軸に、塩内公園での仮設校舎や第二中学校校舎の活用が生徒の安全確保と工事の効率化になり、結果として事業費削減につながると考える。改めて検討する必要があるのではないか。

教育総務課長答弁

基本構想の中で、工期、費用、教育活動への影響、安全性などを整理し、それぞれの手法のメリット・デメリットを踏まえて総合的に判断していく。

～先進地を視察し本町の町政に活かします～

令和7年度村田町議会 行政視察研修 議員レポート

教育民生常任委員会

【視察研修先】栃木県栃木市

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区

【研修期日】11月6日

【研修項目】歴史的資源をいかしたまちづくりについて

【委員会所見】栃木市における伝統的建造物群保存地区の取組は、保存と活用の両面から整理された制度運用、文化財保護の課題、住民主体のまちづくりの姿勢など、村田町の歴史的資源活用に大きな示唆を与えるものであった。

特に、専門職人の不足への対応、空き建造物の活用促進、保存活用計画への移行などは本町にとって参考となる点が多かった。



産業建設常任委員会



2. 災害時に求められる機能に応じて、以下の施設、体制が整っていること。
 - ①建物の耐震化、無停電化、通信や水の確保等により災害時においても業務実施可能な施設となっていること。
 - ②災害時の支援活動に必要なスペースとして、2,500㎡以上の駐車場を備えていること。

③道の駅の設置者である市町村と道路管理者の役割分担が定まったBCPが策定されていること。

3. 2が整っていない場合は、今後3年程度で必要な機能、施設、体制を整えるための具体的計画があること。

※「防災道の駅」は、自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動や緊急物資等の配布、復旧活動の拠点などとしての機能が期待されている。

※「防災道の駅」の選定基準

1. 都道府県が策定する広域的な防災計画（地域防災計画もしくは受援計画）及び新広域道路交通計画（国土交通省と都道府県で策定中）に広域的な防災拠点として、位置づけられていること。



総務常任委員会

【視察研修先】栃木県壬生町

【研修期日】11月7日

【研修項目】防災道の駅について

【委員会所見】本町にも、東北自動車村田インター、菅生スマートインターがあり、「道の駅村田」では様々なイベントが開催され、多くの買い物客でにぎわっている。

東北自動車道は経済活動の動脈であり、今後とも交通量の増加が見込まれることから、インターチェンジやスマートインター付近での「道の駅」設置は農産物の地産地消、地場産品の消費拡大につながり、地域経済の大きな力になり得るもので、特に菅生スマートインター近辺への設置については、大消費地の仙台市があること、スポーツランド菅生があることから検討する必要がある。



リポート

情報公開・個人情報及び広報について (11月13日実施)

総務常任委員会

■情報公開・個人情報及び広報について

○公文書の開示請求件

令和5年度 1件
令和6年度 7件
令和7年度 8件

■広報誌と広告掲載について

○広報誌の発行

発行回数 月1回
発行部数 4,400部

○有料公告掲載実績

令和5年度 4万円
令和6年度 4万円
令和7年度 15万円

○委員会所見

令和6年度における情報公開は7件で、町政の執行状況に関するものや、公共工事にかかる入札結果の閲覧が主なものとなっている。

町政・行政に対しての関心の現れであり、住民意識のあり方がうかがえる。



情報公開の流れが進む中で、開示できるものは公開を原則としていくべきであるが、個人情報の保護については情報漏洩などが発生しないよう細心の注意が必要である。

近年、フェイスブックやメールの配信による情報が多くなっており、スマホやパソコンで常時閲覧できることから、行政の情報管理、セキュリティ対策を強化することが望まれる。

企業誘致について (11月10日実施)

産業建設常任委員会

■企業誘致について

○町の現況

村田町は、交通アクセスに恵まれた立地条件を誇る。東北自動車道村田インターチェンジ、菅生スマートインターチェンジ、東北自動車道と山形自動車道が交差する村田ジャンクションがある。また、主要地方道岩沼蔵王線の志賀姥ヶ懐トンネルが令和元年12月に開通したことにより、東北自動車道から仙台空港へのアクセスがさらに向上し、東北新幹線や仙台港、仙台空港との連携が強化された。これにより、陸・海・空の交通網が結びつき、首都圏との往来時間の短縮に加え、東北全体の活性化に大きな貢献をしている。

○委員会所見

企業誘致は雇用創出の起爆剤となりうる。東北自動車道IC等へのアクセスの良さを活かした薄木地区の産業用地の造成を評価しつつ、投資と財政とのバランスを考慮した計画的な推進と、立地企業との連携による新たな雇用と地域活力の創出に期待する。



薄木地区産業用地



菅生スマートインターチェンジ

○新たな工業団地の造成について

交通アクセスが良好な立地を活かし、町南西部の「薄木地区産業用地」について、令和8年度より順次分譲開始に向けて造成を進めている。

所在地・村田町大字薄木地内
造成状況…造成中（令和8年度より順次分譲開始予定）
造成面積等…
造成面積 約7・8ha
分譲面積 約4・1ha

常任委員会

文化財保護行政について (11月11日実施)

教育民生常任委員会

■文化財保護行政の取り組み

以下の5点を掲げ取り組んでいる。

- ・伝統的建造物群の保存
- ・文化財の調査・記録作成
- ・保存と活用
- ・理解促進の機会創出
- ・伝統文化の保存と情報提供

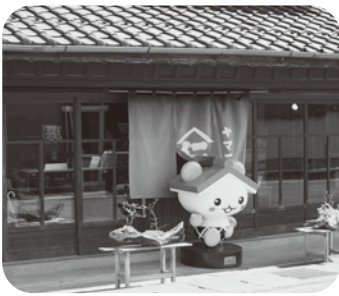
■主な事業

- ・伝統的建造物群保存地区保存事業
- ・伝建地区整備事業(福島県沖地震による災害復旧を含む国庫補助事業として実施)と制度周知事業。
- ・文化財調査事業
- ・文化財資料の収集及び調査・研究、古文書調査、埋蔵文化財の保護、ニホンカモシカの保護など。
- ・文化財保存・活用事業
- ・重要文化財旧大沼家住宅の保存修理事業、郷土民俗芸能継承支援事業など。
- ・文化財普及啓発事業
- ・文化財めぐりなど。
- ・文化財・伝統文化体験学習事業
- ・文化体験事業、歴史講座など。

○委員会所見

伝建地区は保存に加え活用による地域活性化が重要である。修復建造物の利活用が進んでいない点を課題とし、外観を保った内部改修やイベント活用、保存活用計画の整備により、関係課が連携した一体的なまちづくりと発信力強化を図る必要がある。スタンブラー1等のソフト事業や見学会の拡充により、回遊性向上と町民理解の促進を求める。

寄贈資料増加による保管不足への対応として蔵の利活用を提案し、保管と展示の両立による歴史文化への接点創出を期待する。無形文化財保存団体への助成は交流促進や関心醸成に寄与しており、今後も継続と周知強化を求む。



観光案内所のヤマニ邸

議会広報研究会

【会場】宮城県自治会館

【研修日】11月14日

【出席者】

鈴木正信 村上登 高橋勝

【研究内容】

議会の見える化 住民参加・協働&認知・信頼関係について



【所見】

「議会だより」が住民と議会との関係づくりの立場で編集されているか、身近で遠い議会から存在感ある議会だよりに編集されているか、議会が見え、住民参加や住民との信頼関係を築くように編集されているか等が強調されました。

令和7年度 市町村議会議員特別セミナー

【会場】市町村職員中央研修所
(千葉県千葉市美浜区)

【研修日】令和7年11月4日(火)
11月5日(水)

【受講者】太田初美 村上登
山家寛二

【所見】

社会経済情勢の変化と町が直面する課題に対応するため、先進事例を学習し、研修で得た知識を地域振興に資することを目的に受講した。

内容については、持続可能な地域づくりや災害の初動対応などをまちづくりについて研修を受けた。

【研修日】令和8年1月8日(木)
1月9日(金)

【受講者】鈴木宏 大久保廣信

【所見】

我が国を取り巻く社会・経済情勢の変化や人口減少時代への新たな対応が求められる中、市町村議会議員として、専門的知識の習得を目的とし、令和7年度の市町村議会議員特別セミナーに参加した。

日本各地のグルメ、広島被爆体験講話、主権者教育及び自治体財政の基本と予算審議のポイントについて研修した。

わたしの思い

ほどほどの幸せに満足

おおひら
てるこ
大平 照子さん(石生)

昨年の12月29日のテレビにて「父につづった戦場日記」を見て80年前のことを思い出した。私は5歳でした。

店蔵には、7、8人の兵隊さんが寝起きしていました。毎日谷山へ行き、松の根っこ掘って夕方帰ってきました。私の目の先は、兵隊さんの足元です。トウモロコシの皮で作ったぞうりは泥だらけでした。終戦間近は物がなく、履く靴も無く、自分で調達したのでしょうか。

本土から遠く離れた南方の戦地では、食べる物もなく、戦死



↑↓趣味の手芸作品



の大半は餓死とのことです。

近頃、世界のあちこちで、戦争のニュースが報じられています。心が痛みます。

今は物が溢れるほどあり、欲しいものは多少なりとも手に入ります。自分の責任で自由に行動することができる素晴らしい世の中で、私たちは生かされていることのありがたさを大切に、次世代に残していきたいと思っております。穏やかな日々と、ほどほどの幸せを願っております。

次の定例会は 3月3日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
詳しくお知らせしています。

**議会を傍聴しませんか。
議会はどなたでも傍聴できます。**

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

～「わたしの思い」を募集します～

対 象 者	町内に住所を有する方 ※氏名(ふりがな)、行政区を掲載することにご了承いただける方に限る。
募集期間	5月1日発行号:令和8年3月31日正午まで ※掲載号に希望がない方は随時募集させていただきます。 (応募者多数の場合は広報委員会にて選考させていただきます)
内 容	ご自身の趣味や仕事、日ごろの思い等を400～500文字程度で記載し、写真等を添付してください。
申し込み方 法	上記の内容を明記のうえ、メールまたは封書でご応募ください。 mura-gik@town.murata.miyagi.jp 〒989-1392 宮城県柴田郡村田町大字村田字迫6番地 議会事務局

編集後記

令和7年第6回定例会においては物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や子育て応援手当支給事業等の一般会計補正予算を可決致しました。

議会としても政府の進める成長戦略の中から村田町に取り入れ可能な政策の一つでも多く取り入れ、豊かな暮らしを実感できるまちづくりの議論を深めてまいります。午年の勢いにあやかり、皆さまの一年が大きく飛躍されますようご祈念申し上げます。

議会広報編集特別委員会
委員 大久保 廣信

発行・編集責任者
議 長 遠藤 実
議会広報編集特別委員会
委員長 高橋 勝
副委員長 山家 寛二
委員 長 藤喜太郎
委員 員 大久保 廣信
委員 員 山家 大宏
委員 員 鈴木 正信
委員 員 鈴木 夫
委員 員 菊地 登
委員 員 村上